

助成受給団体名	ふりがな けせんぬまちくしょうねんほどういんきょうかい 気仙沼地区少年補導員協会
事業の名称	地域で守ろう2014!被災地気仙沼の未来を担う子ども達を
実施期間	「覚書」第2条で定めた期間を書いてください。 平成26年8月1日～同27年3月31日
実施した事業の内容(200字以上500字以内に収めてください。)	
<p>震災後、被災地気仙沼では、山間部に建設された仮設住宅から通学する児童・生徒を狙った声かけ事案や容姿撮影事案等の不審者情報が年間約30件発生している状況にある。</p> <p>気仙沼地区少年補導員協会では、市内各小学校において防犯の約束「いかのおすし」を取り入れた児童参加型被害防止寸劇を行っているが、クイズ形式で防犯対策の基本を学んだり、不審者に遭遇した場合の身の守り方を具体的に取上げた防犯教育用DVD2枚(小学生向け、中学生向け)を購入し、平成26年8月以降、市内小・中学校で開催された被害防止教室において上映した。</p> <p>また、「ながら歩き」による犯罪被害を受けやすい女子中・高校生を対象とした、被害防止チラシ「さよなら無防備」を計3,450枚作成し、平成26年9月26日付けで市内の全女子中・高校生(1,813人)に配布したほか、同年10月以降に開催された被害防止教室において同チラシを活用した防犯講話を実施し、自分の身を守る防犯意識のさらなる高揚を図った。</p>	
事業の成果(200字以上400字以内に収めてください。)	
<p>本事業において作製した、不審者に遭遇した場合の具体的な対応要領を取り入れた防犯教育用DVD2枚(小学生向け、中学生向け)を被害防止教室等において上映したところ、小・中学生は真剣に受講しており、高学年の小学生から「クイズに答えながら、楽しく勉強できた。」等の反響が寄せられた。</p> <p>また、市内各中・高校を通じて被害防止チラシを全女子中・高校生に配布したところ、中学校教員から「性犯罪の被害に遭いやすい女子生徒に対し、広報チラシを活用して注意喚起を促したい。」との話があり、児童・生徒の防犯意識及び子ども達を見守る社会機運の高揚を図ることができた。</p>	
今後の課題	
<p>市内18小学校のうち15校で被害防止教室を実施したものの、子ども・女性を狙った不審者情報は年間30件に達したほか、発生2時間以内の通報が総数の3割と少なく、通報の遅延が課題となっていることから、迅速な110番通報を呼びかけていく必要がある。</p>	

